

## 第5章

# 新「久喜市」誕生



## 第5章 新「久喜市」誕生

### 1 開庁式

久喜市役所開庁式は、平成22年3月23日午前8時から久喜市役所正面玄関前において、市長職務執行者をはじめ、地元県議会議員、旧市町長、旧副市町長、旧教育長、旧市町議会議員、市職員及び市民など約300人が参加して開催された。

市長職務執行者のあいさつ、来賓祝辞に続き、市長職務執行者及び旧市町長によるテープカットが行われ、その後、市長職務執行者、地元県議会議員及び旧市町議会議員によるくす玉開きが行われ、新市の誕生を祝った。

また、菖蒲総合支所、栗橋総合支所及び鷲宮総合支所の開庁式は、午前8時15分から各総合支所正面玄関前において、総合支所長をはじめ、市職員及び市民が参加して開催された。

総合支所長のあいさつの後、総合支所長及び住民代表によるテープカットが行われた。

#### 式次第

日時 平成22年3月23日（火）

午前8時00分

場所 久喜市役所玄関前

- 1 開式
- 2 あいさつ
- 3 来賓祝辞
- 4 テープカット
- 5 くす玉開き
- 6 閉式

#### 開庁式あいさつ

皆様、おはようございます。久喜市長職務執行者の中山登司男でございます。

平成22年3月23日、本日、この記念すべき合併の日に、埼玉県議会議員樋口邦利様、埼玉県議会議員梅澤佳一様、埼玉県議会議員岡重夫様をはじめ、前久喜市長田中暄二様、前栗橋町長斉藤和夫様、前鷲宮町長本多健治様など、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜る中、久喜市役所開庁式が盛大に開催できますことを、心より厚くお礼申し上げます。

さて、旧久喜市、旧菖蒲町、旧栗橋町、旧鷲宮町の1市3町は、平成20年4月に、法定合併協議会を設置し、合併協議をスタートいたしました。

以来、2年間、13回の会議を開催し、様々な協議や調整を行ってまいりまして、このような素晴らしい日を迎えることができました。私は、合併を推進してきた責任者の一人として、大変うれしく、また、感慨深く思う次第であります。

東京都心から 50km 圏に位置し、人口 15 万 7 千人、面積 82.4km<sup>2</sup>を有する新「久喜市」は、豊かな自然環境と地域独自の伝統や文化にあふれ、大きな可能性を秘めたまちであります。

今後は、合併前の市・町から受け継いだこれらの財産と魅力をもとに、埼玉県東北部の中核都市として、益々大きく飛躍することを期待しております。

私は、限られた期間ではございますが、市長職務執行者として、新久喜市の目指す将来像「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、ご参会の皆様のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

平成 22 年 3 月 23 日 久喜市長職務執行者 中山 登司男

## 2 事務引継

平成 22 年 3 月 23 日午前 8 時 30 分から市長公室において、田中暄二旧久喜市長、中山登司男旧菖蒲町長、斉藤和夫旧栗橋町長及び本多健治旧鷺宮町長が出席し、旧久喜市、旧菖蒲町、旧栗橋町、旧鷺宮町、旧栗橋・鷺宮衛生組合及び旧栗橋町外五箇市町水防事務組合の事務が市長職務執行者に引き継がれた。

## 3 行政委員会の開催

教育委員会については、平成 22 年 3 月 23 日、市長職務執行者が臨時の教育委員を 5 人選任し、直ちに臨時の教育委員会が開催され、委員の互選により、委員長に小林徳雄氏、委員長職務代理者に大熊英美江氏、教育長に吉田耕治氏が選任された。

選挙管理委員会については、同日、旧 1 市 3 町の選挙管理委員の互選により、4 人の暫定的な選挙管理委員会が発足し、直ちに選挙管理委員会が開催され、委員長に穂山教雄氏、委員長職務代理者に小澤重雄氏が選任された。また、新市の市長選挙及び市議会議員一般選挙の日程は、告示日が 4 月 18 日、選挙期日が 4 月 25 日と決定した。

固定資産評価審査委員会については、同日、市長職務執行者が固定資産評価審査委員会委員を 4 人選任した。3 月 30 日の第 1 回委員会において選挙（互選）により、委員長に樋田芳雄氏、委員長職務代理者に佐世芳氏が選任された。

農業委員会については、選挙による委員 44 人が在任特例の適用により、平成 22 年 6 月 30 日までの間、新市の選挙による委員として在任した。平成 22 年 3 月 23 日、市長職務執行者が選任による委員を 4 人選任し、直ちに農業委員会総会が開催され、委員の互選により、会長に並木源榮氏、会長代理に本多忠夫氏が選任された。なお、選任による委員のうち議会推薦委員 4 人は、平成 22 年第 1 回久喜市議会臨時会で推薦された。

#### 4 平成 22 年度暫定予算

平成 22 年度暫定予算は、地方自治法施行令第 2 条の規定に基づき、平成 22 年 4 月 1 日から 7 月 31 日までの 4 か月間として、市長職務執行者が調製した。

なお、暫定予算には、義務的経費を中心に必要経費を計上した。

#### 5 市長選挙

初代市長を決める久喜市長選挙は、平成 22 年 4 月 18 日に告示され、田中暄二氏（旧久喜市長）が、無投票により 4 月 25 日に初当選を果たした。

#### 6 市議会議員一般選挙

新市の議員を決める久喜市議会議員一般選挙は、平成 22 年 4 月 18 日に告示され、45 人が立候補し、4 月 25 日に投・開票が行われ、34 人が初当選を果たした。

#### 7 新市初議会

新市の初議会である「平成 22 年第 1 回臨時会」が平成 22 年 5 月 11 日に招集され、新市の議員 34 人が出席して、開催された。

会期は、5 月 18 日から 5 月 20 日までの 3 日間で、合併日に市長職務執行者が専決処分を行った議案など 23 件の市長提出議案、3 件の議員提出議案が上程され、いずれも承認、同意又は原案のとおり可決された。

また、初議会では、議長、副議長、一部事務組合議会議員の選挙が行われるとともに、常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任が行われた。

#### ◆市長提出議案

議案第 1 号 専決処分の承認を求めることについて

※久喜市役所の位置に関する条例ほか 215 条例の制定

議案第 2 号 専決処分の承認を求めることについて

※久喜市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

議案第 3 号 専決処分の承認を求めることについて

※久喜市職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例

議案第 4 号 専決処分の承認を求めることについて

※久喜市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第 5 号 専決処分の承認を求めることについて

※久喜市税条例の一部を改正する条例

議案第 6 号 専決処分の承認を求めることについて

※久喜市都市計画税条例の一部を改正する条例

議案第 7 号 専決処分の承認を求めることについて

※久喜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

- 議案第 8 号 専決処分の承認を求めることについて  
※久喜市保育所条例の一部を改正する条例
- 議案第 9 号 専決処分の承認を求めることについて  
※久喜市指定金融機関の指定
- 議案第 10 号 久喜市副市長定数条例
- 議案第 11 号 久喜市税条例の一部を改正する条例
- 議案第 12 号 久喜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 議案第 13 号 久喜市手数料条例の一部を改正する条例
- 議案第 14 号 久喜市教育委員会委員の任命について
- 議案第 15 号 久喜市教育委員会委員の任命について
- 議案第 16 号 久喜市教育委員会委員の任命について
- 議案第 17 号 久喜市教育委員会委員の任命について
- 議案第 18 号 久喜市教育委員会委員の任命について
- 議案第 19 号 久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 議案第 20 号 久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 議案第 21 号 久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 議案第 22 号 久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 議案第 23 号 久喜市固定資産評価員の選任について

#### ◆議員提出議案

- 議員提出第 1 号 久喜市議会会議規則
- 議員提出第 2 号 久喜市議会委員会条例
- 議員提出第 3 号 久喜市議会事務局設置条例

#### ◆人事案件

教育委員会委員などの人事案件が次のとおり同意された。(敬称略)

- ・**教育委員会委員** 早川碩明、鹿児島金衛、吉田耕治、小島博子、榎本英明
- ・**固定資産評価審査委員会委員** 松本浩充、樋田芳雄、岡安正一、佐世芳

◆久喜市議会議員名簿 平成22年5月18日現在

- ・議 長 山田 達雄
- ・副議長 鈴木 松蔵

(敬称略)

議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名
1	渡辺 昌代	13	齋藤 広子	25	岡崎 克巳
2	石田 利春	14	矢崎 康	26	足立 清
3	木村 奉憲	15	鈴木 精一	27	戸ヶ崎 博
4	杉野 修	16	並木 隆一	28	松村 茂夫
5	梅田 修一	17	田島 行雄	29	青木 信男
6	井上 忠昭	18	鈴木 松蔵	30	宮崎 利造
7	大谷 和子	19	盛永 圭子	31	大鹿 良夫
8	上條 哲弘	20	柿沼 繁男	32	山田 達雄
9	園部 茂雄	21	猪股 和雄	33	岸 輝美
10	春山 千明	22	石川 忠義	34	鎌田 忠保
11	富澤 孝至	23	新井 勝行		
12	田村 栄子	24	内田 正		

## 8 平成22年6月定例会

合併後、初の定例会となる「平成22年6月定例会」が平成22年6月3日から7月9日までの37日間開催され、久喜市一般会計予算や人事案件などが上程され、いずれも承認、同意又は原案のとおり可決された。

### (1) 平成22年度本予算

- ・平成22年度 一般会計予算 43,705,000千円
- ・平成22年度 特別会計予算 27,855,250千円 (8会計)
- ・平成22年度 水道事業会計予算

収益的収入 3,703,114千円

収益的支出 3,359,411千円

資本的収入 118,167千円

資本的支出 1,645,982千円

※資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、減価償却費などの現金支出を伴わない費用などで補填。

### (2) 人事案件

監査委員などの人事案件が次のとおり同意された。(敬称略)

- ・監査委員 矢島隆、盛永圭子
- ・公平委員会委員 鈴木恒雄、島崎和子、山田正一

## 9 新市の市章

新市の市章を制定するにあたり、平成 22 年 5 月 7 日から 6 月 4 日にかけて、新市の将来像である「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市」にふさわしいデザインを募集したところ、2,046 作品の応募があった。

これらの作品の中から、市において優秀な 5 作品を絞り込み、平成 22 年 9 月 10 日から 10 月 1 日にかけて市民アンケートを実施した。

アンケートの結果、得票 1 位の作品を最優秀作品として市章に採用することを決定し、平成 22 年 11 月 7 日に開催された久喜市合併記念式典にて発表した。

### ◆久喜市市章



#### 【デザインの趣旨】

久喜市の「久」の文字を基調に、白色は未来への限りない夢と希望を、青色は市内を流れる河川の清き水と澄んだ空を、黄緑色は豊かな恵みをもたらす田園を、緑色は自然の木々や美しい草花を表し、都市と豊かな自然環境が調和し発展する久喜市を表現している。

### ◆市民アンケート結果

投票総数 1,696 票（うち、無効票（重複投票）6 票）

作品番号 1	作品番号 2	作品番号 3	作品番号 4	作品番号 5
398 票	194 票	353 票	330 票	415 票
居山央子さん	加藤敏和さん	金津博さん	平野正さん	芦田為美さん
優秀賞				最優秀賞



## 10 合併記念式典前夜祭

久喜市合併記念式典前夜祭は、平成 22 年 11 月 6 日、久喜駅西口周辺において、衆議院議員、参議院議員、地元県議会議員、旧菖蒲町長、旧栗橋町長及び旧鷺宮町長などを来賓に迎え、久喜市合併記念事業前夜祭実行委員会の主催のもと開催された。

久喜地区から久喜市祭典委員会及び上清久祭典委員会、菖蒲地区から菖蒲夏祭り実行委員会及び菖蒲神輿会、栗橋地区から八坂神社祭典委員会及び阪東神輿会、鷺宮地区から上町地区及び旭町地区の団体が参加し、山車や神輿の運行、お囃子が披露された。

旧 1 市 3 町の歴史と伝統のある山車 11 台、神輿 3 基、お囃子 2 団体が一堂に会し、集まった多くの観衆とともに新市誕生を祝った。



出発式



集合した山車・神輿

## 11 合併記念式典

久喜市合併記念式典は、平成 22 年 11 月 7 日、久喜総合文化会館において総務大臣代理、埼玉県知事、衆議院議員、参議院議員、地元県議会議員、近隣の行政関係者、合併功労者など 705 人が出席して開催された。

式典の第 1 部では、市長式辞、市議会議長あいさつ、来賓祝辞に続き、田中暄二旧久喜市長、中山登司男旧菖蒲町長、斉藤和夫旧栗橋町長及び本多健治旧鷺宮町長に、総務大臣から合併功労者表彰が贈呈された。

続いて、元久喜市・菖蒲町・栗橋町・鷺宮町合併協議会及び元新市まちづくり懇話会に携わられた方々へ、市長から感謝状が贈呈された後、新久喜市の誕生に多大な功績があった中山登司男旧菖蒲町長、斉藤和夫旧栗橋町長及び本多健治旧鷺宮町長に名誉市民の称号が授与された。

その後、新市の市章が発表され、市章デザインの最優秀賞、優秀賞受賞者に表彰状が贈呈された。最後に、久喜市誕生記念映像「みんなで創ろう久喜新時代」が上映された。

式典の第 2 部では、市内各地区の郷土芸能、文化披露として、小塚囃子連による小塚囃子（菖蒲地区）、除堀獅子舞保存会による除堀の獅子舞（久喜地区）、栗橋阪東太鼓保存会による阪東太鼓（栗橋地区）、鷺宮催馬楽神楽保存会による鷺宮催馬楽神楽（鷺宮地区）が披露された。

式典終了後、久喜総合文化会館ふれあい広場では、久喜青年会議所を中心に、子どもたちのメッセージが添えられたエコキャンドルにより新市の市章が描かれ、幻想的なキャンドルの灯りに包まれながら、県立久喜高等学校音楽部の合唱とともに新市誕生を祝った。

式 次 第

日時：平成 22 年 11 月 7 日（日）

午後 1 時 30 分開式

場所：久喜総合文化会館大ホール

【第 1 部】

- 1 開式のことば
- 2 市長式辞
- 3 市議会議長あいさつ
- 4 来賓祝辞
- 5 来賓紹介
- 6 合併功労者総務大臣表彰
- 7 合併功労者市長感謝状贈呈
- 8 名誉市民推戴
- 9 市章発表
- 10 市章デザイン応募者表彰
- 11 久喜市誕生記念映像上映
- 12 閉式のことば

【第 2 部】

郷土芸能・文化披露 午後 3 時 10 分開演予定

- 1 小塚囃子
- 2 除堀の獅子舞
- 3 阪東太鼓
- 4 鷲宮催馬楽神楽

【合併記念キャンドルナイト】 （社団法人久喜青年会議所）

午後 5 時 00 分～6 時 30 分／久喜総合文化会館ふれあい広場



名誉市民に推戴（左から中山旧菖蒲町長、斉藤旧栗橋町長、本多旧鷲宮町長）

## 市長式辞

本日ここに、「久喜市合併記念式典」を挙げていただきましたところ、総務大臣代理として総務省自治行政局市町村体制整備課長大泉淳一様、埼玉県知事上田清司様、県選出の衆参国會議員の皆様、地元県議會議員ならびに久喜市議會議員の皆様を始め、多数のご来賓の皆様方のご臨席を賜りまして、衷心より厚く御礼を申し上げます。

さらに、この度の合併に際し、各方面からご協力とご尽力を賜りました皆様方にも、多数ご出席を賜り、このように盛大に合併記念式典を挙げてできますことは、このうえない喜びであり来し方を振り返り、万感胸に迫る思いでございます。

また、昨日は、「合併記念式典前夜祭」が開催されました。市内4地域に古くから伝わる祭りの主役であります山車や神輿が久喜駅西口前に一堂に会し、大勢の市民の皆様が合併の成就を共に祝い、新「久喜市」の一体感が醸成されるすばらしい催しとなりました。前夜祭の開催に際し、ご尽力を賜りました皆様に対しまして、この場をお借りいたしまして、心よりお礼申し上げる次第でございます。

さて、我が「久喜市」は、平成22年3月23日をもちまして、久喜市、菖蒲町、栗橋町及び鷺宮町の1市3町が合併し、人口15万7千人、面積82.4km<sup>2</sup>の都市として新たな出発をしたわけでございます。本市の人口は県内64市町村の中で12番目、面積は10番目であります。

合併前の1市3町は、地理的や歴史的な関係だけでなく、行政・経済・文化など様々な分野においても、とりわけ深いつながりを持ち、生活圏が一体化する中で、広域行政の推進など相互に協調しながら、それぞれの個性や特色を生かし発展してまいりました。

一方、近年の地方自治体を取り巻く環境は、少子・高齢化による急激な人口構造の変化や情報化の進展に伴う様々な行財政課題が山積しており、極めて厳しい財政運営を余儀なくされております。また、本格的な地域主権の時代を迎え、自分たちの地域のことは自分たちで考え、判断し、行動する「自主・自立のまちづくり」が求められているところでございます。

こうした中で、1市3町は、高度化、多様化する住民ニーズに的確に対応し、将来にわたって地域住民が安心して幸せに暮らせる地域社会の実現を図るためには、市町村合併は避けて通れない課題であるとの共通認識から、それぞれの市・町におきまして合併についての検討が真剣に行われました。

そして、平成20年4月1日に、新市誕生の礎となりました「久喜市・菖蒲町・栗橋町・鷺宮町合併協議会」が設置され、いよいよ合併に向けた正式な協議がスタートをした訳でございます。

合併協議の過程におきましては、終始、合併を望む多くの住民の皆様の変わらぬ熱意に支えられ、2年という短期間のうちに合併を実現することができました。

この合併協議の間、1市3町におきましては、それぞれの地域の将来に渡る発展を心から願ひ、長い歴史と伝統に輝く市制、町制に幕を閉じる決断をされた、首長の皆様、議会の皆様、そして合併協議会及び新市まちづくり懇話会の委員の皆様をはじめ、関係各位のご熱意とご努力に、改めまして心からの敬意を表したいと存じます。

あわせて、合併に託された夢と期待に思いをいたし、これに応えるため、私は初代久喜市長として最大限の努力をすることをお約束させていただきます。

合併後のまちづくりにつきましては、本市の将来のあるべき姿をしっかりと見据える中で、未来にわたって市民の皆様へ「合併してよかった」そして、何よりも「久喜市に住んでよかった」「これからも久喜市に住み続けたい」と高い評価をいただけるまちづくりを行ってまいりる覚悟でございます。

特に、1市3町それぞれの歴史や文化を大切にしながら、地域特性を生かした一体的なまちづくりを進めるとともに、「新市基本計画」の将来像であります「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市」を早期に実現し、県東北部の拠点都市として発展させることが私に課せられた使命であると考えております。

そのための市政運営にあたりましては、その基本理念を「時代を捉え、将来を見据えた行政」「市民の視点に立った行政」といたしまして、「やさしさ・あんしん・かいてき」にあふれたまちづくりを目指し、久喜市の新たな歴史を刻んでまいります。

結びに、ご列席の皆様方のますますのご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに、今後、久喜市の発展のため、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申しあげまして、式辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

平成 22 年 11 月 7 日 久喜市長 田中 暄二



式辞を述べる田中市長